

令和7年度 学校評価 報告書



旭市立琴田小学校

令和8年3月2日

令和7年度学校評価について

1 目的

- ①本校の教育活動等の成果を検証し、必要な修正や改善を行い、児童がより良い教育活動を享受できるように学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図る。
- ②学校運営に関して、学校が適切な説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解をもつことにより、家庭及び地域との連携・協力の促進を図る。
- ③学校運営全般について評価を行い、その評価結果を広く保護者等に公開する。

2 方法

- 自己評価の基になる資料収集のため、児童・保護者・教職員向けアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
- アンケート等の結果を集計、分析、考察し、評価を実施しました。
- 考察・評価から、今後の学校運営に関しての対応をまとめました。
- この結果は、保護者・学校評議員・学校ホームページに公開されます。

3 アンケート結果の処理について

肯定的 (%) は、質問に対し（とても思う : 4 思う : 3）の人数の割合です。
否定的 (%) は、質問に対し（あまり思わない : 2 思わない : 1）の人数の割合です。
評価 (点) は、質問に対する回答 (点) を次の式で処理したものです。

式：各質問の回答 (点) の平均値 / 4 × 100

【例】

1 児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。

(とても思う : 4 思う : 3 あまり思わない : 2 思わない : 1) で回答

とても思う	: 4	・・・	18名	4 × 18 = 72
思う	: 3	・・・	2名	3 × 2 = 6
あまり思わない	: 2	・・・	2名	2 × 2 = 4
思わない	: 1	・・・	2名	1 × 2 = 2

回答(点)の平均値は、 $(72+6+4+2) \div 24人 = 3.5$ $3.5 \div 4 \times 100 = \underline{87.5} \rightarrow$ 評価 (点)

<自己評価の資料として>

十分達成○ (75以上 ※90以上には◎) 要努力評価△ (75未満)
不十分達成× (60未満) としてあります。

目次

自己評価と対応	1 ページ ~ 5 ページ
1 保護者アンケート結果	6 ページ
2 児童アンケート結果 (低学年)	7 ページ
3 児童アンケート結果 (高学年)	8 ページ
4 職員アンケート結果	9 ページ
アンケート記述欄	10 ページ ~ 12 ページ
(学校関係者評価	13 ページ)

自己評価と対応

※自己評価は、A:十分に達成 B:ほぼ達成 C:やや不達成 D:不達成 とし、保護者アンケート、児童アンケート(低・高学年)、職員アンケート等を評価の参考としています。
 ※各アンケートは、【回答(点)の平均/4*100点】として集計し、十分達成(75点以上):○ ※令和6年度から90点以上の項目には◎ 要努力評価(75点未満~60点):△ 不十分達成(60点未満):× で標記しました。

◎ 本年度の最重点目標について

1	授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底することで学習習慣を確立する。	評価	A
2	家庭学習の充実を図る。家庭学習への取り組み方指導、ICT機器の効果的活用と情報モラル・マナー指導を充実させる。	評価	A
3	図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書の苦手な児童に対して、効果的な指導・支援を実施する。	評価	C
4	豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・「小さな親切」運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	評価	A
5	進んで運動に取り組み、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	評価	A
6	学校・家庭・地域と連携し「開かれた学校」を推進する。児童一人一人の状況について家庭との連携を密にする。	評価	A
7	公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、職員の「不祥事ゼロ」を実現する。	評価	A

○進んで学習する子どもについて

1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	評価	A																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">アンケート対象</td> <td style="text-align: center;">評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">保護者</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">低学年児童</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">高学年児童</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">教職員</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○		
アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価	アンケート対象	評価												
保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○												

肯定率は、保護者は96%、低学年児童は98%、高学年児童88%でした。教職員も肯定率100%、評価点89.7と児童の取組を高く評価しています。

様々な支援を必要とする児童が多い中、集中力を高め、持続しながら学習に取り組ませるための基本として大切なことは、授業規律の徹底であると考えています。道具の準備、時間着席、グー・ペタ・ピン・サッ、授業中の勝手な出歩き等について、教職員で共通理解を図り、取り組んできた成果が徐々に現れているものと推察します。今後もこれらのことを徹底して指導に当たれるよう努めていきます。

2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。(児童:忘れずにやっている)	評価	A								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">保護者</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">低学年児童</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td style="text-align: center;">高学年児童</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">教職員</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table>	保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○		
保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○				

低学年児童では肯定率98%、評価点97.9とかなり高い数値ですが、高学年になると肯定率88%、評価点78.5と若干下がっています。高学年児童は、肯定率・評価点共に昨年の数値より若干向上しましたが、まだまだ向上の余地があると考えます。

今年度から基礎・基本的な学力の向上と、家庭学習・自主学習の充実を目指し、『The勉強グランプリ』と題して、年8回の全校統一小テストを実施しました。この取組の成果が本アンケートの結果には十分に反映されていないように推察しますが、次年度以降も継続し、成果に繋がることを期待しています。

家庭学習は、『学年×10分』を目安として、指導を行っています。家庭での過ごし方及びゲーム・ネットの使い方など、家庭と連携を図り、家庭学習の習慣化を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	評価	A
---	---------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

本校の課題の一つは『学力の向上』です。「漢字や計算などを頑張っている」の質問に対しての肯定率は、低学年児童は96%、高学年児童は88%、「身に付くよう指導している」の質問に対しての肯定率は、保護者は98%、教職員は100%でした。朝学習の充実、前述の統一小テストの実施、授業における指導法の工夫改善や校内研究などに今年度も取り組んできました。また、各教科の授業においても少人数の利点を生かしたきめ細かな指導を行っているところです。学習の定着度については、2月中に実施予定の千葉県標準学力検査の結果を基に評価を行い、次年度に向けての指導方法の工夫改善につなげていきたいと考えます。

4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	評価	C
---	-----------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の児童の肯定率は低学年で60%、高学年で51%、評価値は69.8と64.5でした。昨年度と比較すると、わずかではあります数値の上昇が見られましたが、自己評価は、あえてCとしました。

学校では、読書賞の授与と読書ボランティアによる読み聞かせ活動、図書館司書による図書室の管理・充実と本の紹介等を継続して行っています。しかし、低学年・高学年共に積極的に取り組むのは一部の児童で、こちらの意図するように意欲的に取り組む児童は増加しません。語彙力を増やすことや読解力の向上を目指すためにも、読書に対する意欲が高まるよう指導を工夫していきたいと考えます。

5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット)を活用している。	評価	A
---	------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

評価の肯定率は、保護者・児童(低・高)では、90%を上回る数値となりました。しかし教職員の肯定率が94%と若干下がりました。ICT機器の操作が不慣れな職員については、校内研修や情報交換を通じて指導力の向上に取り組み、児童のより深い学びにつながるようなICT機器の効果的な活用方法についての研修を重ねていきたいと考えます。また、週末や長期休業中のICT機器の持ち帰りを更に推進し、家庭学習の充実を図ります。

○思いやりのある子どもについて

6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	評価	A
---	-------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童に『挨拶にっこり』を呼びかけて3年目となりました。学校評価の肯定率は、低学年98%、高学年96%、保護者90%と昨年度の数値を上回って高評価です。教職員の肯定率も100%、評価点88.2という評価でした。自分から進んで挨拶できる児童が増えてきていると思います。これからも継続指導に取り組んでいきます。

7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	評価	A
---	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちに親切にしてあげたことがありますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の肯定率は低学年で90%、高学年で88%と高い評価となっています。これからも道徳の授業及び日常生活における指導に継続して取り組みます。

8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	評価	A
---	--------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

肯定率は、保護者96%、教職員100%でした。『いじめは、絶対にあってはいけない。許さない。』という意識を高くもち、これからも学級担任による連絡ノートの点検や学校生活の観察、定期的な「日常生活アンケート」を通して早期発見・防止に努めます。また、「道徳科」の授業や「諸活動」においても、思いやりの心や命を大切にすることを培っていきます。

○健康で明るい子どもについて

9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会等)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	評価	A
	保護者 <input checked="" type="radio"/> 低学年児童 <input type="radio"/> 高学年児童 <input type="radio"/> 教職員 <input checked="" type="radio"/>		

運動や外あそびは楽しいと思いませんか。

保護者 <input checked="" type="radio"/>	低学年児童 <input checked="" type="radio"/>	高学年児童 <input type="radio"/>	教職員 <input checked="" type="radio"/>
--------------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------------

今年度は、昼休みを含めて全て15分の休み時間の確実な確保や体育環境の充実に取り組めました。今後も児童の体力向上を目指し、積極的に運動に取り組めるよう、努めて参ります。

10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	評価	A
	保護者 <input type="radio"/> 低学年児童 <input checked="" type="radio"/> 高学年児童 <input checked="" type="radio"/> 教職員 <input checked="" type="radio"/>		

給食をがんばって食べましたか。

保護者 <input checked="" type="radio"/>	低学年児童 <input type="radio"/>	高学年児童 <input type="radio"/>	教職員 <input checked="" type="radio"/>
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	--------------------------------------

児童が安全・安心して学校生活を送るために、これからも家庭のご協力をいただきながら健康・保健指導、食育指導及びアレルギー対応等に取り組んで参ります。

○喜んで働く子どもについて

11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	評価	B
	保護者 <input type="radio"/> 低学年児童 <input checked="" type="radio"/> 高学年児童 <input checked="" type="radio"/> 教職員 <input type="radio"/>		

保護者の肯定率が81%、評価点76.9と昨年度より若干向上しましたが、まだまだ低い数値であると捉え、評価Bとしました。学校では、体験的な活動を積極的に実施する事で、児童の夢を育み、勤労観や職業観の向上につながっていく事を願っていますが、保護者には伝わりにくい面があると感じます。児童の成長が保護者からも理解を得られるよう、指導の工夫や情報発信に取り組んで参ります。

12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	評価	A
	保護者 <input type="radio"/> 低学年児童 <input checked="" type="radio"/> 高学年児童 <input checked="" type="radio"/> 教職員 <input type="radio"/>		

そうじや給食のじゅんぴをがんばっていますか。

保護者 <input checked="" type="radio"/>	低学年児童 <input checked="" type="radio"/>	高学年児童 <input type="radio"/>	教職員 <input checked="" type="radio"/>
--------------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------------

係や委員会活動にすすんで活動していますか。

保護者 <input checked="" type="radio"/>	低学年児童 <input checked="" type="radio"/>	高学年児童 <input type="radio"/>	教職員 <input checked="" type="radio"/>
--------------------------------------	--	-----------------------------	--------------------------------------

琴田小の児童は大変素直で、限られた人数で協力し合いながら日々の清掃に一生懸命に取り組んでいます。また、委員会活動や各行事の準備なども高学年児童を中心に、意欲的に取り組む姿が見られました。キャリア教育に関して、保護者の評価点は徐々に向上しています。今後も校内の取組がしっかりと保護者に伝わり、指導の成果について理解を得られるよう努力して参ります。

○安全、生活、家庭との連携

13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	評価	A
	保護者 <input type="radio"/> 低学年児童 <input checked="" type="radio"/> 高学年児童 <input checked="" type="radio"/> 教職員 <input checked="" type="radio"/>		

交通ルールを守って登下校していますか。

保護者 <input checked="" type="radio"/>	低学年児童 <input checked="" type="radio"/>	高学年児童 <input checked="" type="radio"/>	教職員 <input checked="" type="radio"/>
--------------------------------------	--	--	--------------------------------------

交通ルールの指導は、年度当初に市教委・警察と連携しての指導の他、随時、担任を中心に実施しており、児童の評価値は高いです。また、PTA役員、地域ボランティアの方のご協力をいただきながら、登校時の安全確認を定期的に行っています。引き続き、保護者や地域との連携・協力を推進しながら子ども達の安全確保に取り組んでいきます。

14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	評価	A
----	--------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

高い評価をいただいております。安全で安心な学校運営に向けて、教職員も意識を高くもって取り組んでいます。安全点検等の確実な実施を、今後も継続していきます。

15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。(学校生活は楽しい。)	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校評価の肯定率は、保護者が97%、低学年児童が96%、高学年児童が86%でした。高学年児童の数値が若干下降しました。「毎月の児童への生活アンケート」からは、学年が上がるにつれて学習内容が難しくなることや友人関係に関しての不安・不満が高まる傾向にあります。「わかる授業の展開」、「定期的ないじめ・セクハラ調査」、「日々の相談活動」を充実させることで、学校が楽しいと感じる児童の割合が、100%に近づくように努めます。

16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	教職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のきまりややくそくを守って生活していますか。

保護者	／	低学年児童	◎	高学年児童	○	教職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の健康維持・促進及びや望ましい学校生活を送るために、基本的な生活習慣の確立は不可欠です。保護者の回答は、肯定率82%、評価点79.2でした。早寝・早起き・朝ご飯の指導については、学校では養護教諭を中心にその重要性について指導をしていますが、保護者・家庭での指導・対応は欠かせません。今後も協力・連携を図りながら、児童の基本的な生活習慣の向上と規範意識をさらに高めていけるよう指導していきます。

17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	評価	A
----	-------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校のことをお家の人にはなしていますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	教職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

「学校で困った事は先生に話すようにしている」における肯定率は、低学年で94%と高くなりましたが、高学年は75%と昨年度の数値を1ポイント下回りました。教職員は、日々子ども達や保護者の声に耳を傾け、相談には誠意をもって丁寧に対応する事を心がけております。今後も誰もが安心して相談できるよう、相談活動の充実を目指して参ります。

18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	評価	A
----	--------------------------------------	----	---

保護者	◎	低学年児童	／	高学年児童	／	教職員	◎
-----	---	-------	---	-------	---	-----	---

児童の健康・保健面及び生徒指導に関する事など、学校で発生した内容については、事の大小に関わらず、学級担任から保護者に積極的に連絡・報告をしております。引き続き学校教育への理解をいただけるよう、小まめに連携を図って参ります。また、学校配信メール(tetoru)の積極的活用により、情報発信・連携ならびに業務改善・削減の両立を引き続き目指します。

19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	評価	A
----	---	----	---

保護者	<input checked="" type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	----------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	----------------------------------

連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input checked="" type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	----------------------------------	-------	-----------------------	-----	-----------------------

連絡帳の活用については、低・高学年児童のどちらも、肯定率・評価点共に3年連続で前年度を上回る数値となりました。学校と家庭との連携を更に深めるために、これからも積極的な活用していきたいと思ひます。

学校だより・保健だより・ホームページ等については、保護者の肯定率100%、評価点92.6と大変高い評価をいただきました。写真を多く掲載することや、わかりやすい内容の記事となるように取り組み、今後も引き続き、積極的な情報発信に努めて参ります。

○特別支援教育について

20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	評価	A
----	------------------------------------	----	---

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	----------------------------------

自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしていますか。

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	-----------------------

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	-----------------------

特別支援教育の充実は、本校の学校経営の重点の一つであります。様々な配慮や支援を必要とする児童の的確な実態把握や適切な指導を行うための指導力向上研修を、外部から講師を招聘して実施しています。また、児童の実態に応じて適切な指導を行えるよう、特別支援コーディネーターを中心に、教育課程の編制と職員間での情報共有を積極的に実施しています。

○不祥事防止について		評価	A
------------	--	----	---

学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	----------------------------------

教職員は、肯定率100%、評価点97.4という結果でした。本校では、年度当初に「不祥事ゼロ宣言」を掲げるとともに、年間研修計画を立て、毎月1回モラルアップ研修(不祥事根絶研修)を確実に実施しています。また、臨時打合せにおいても情報を共有しています。今後も教職員が積極的に声を掛け合い、仲良く風通しの良い職場作りに取り組んでいきます。

○働き方改革について		評価	A
------------	--	----	---

(職員は)意識して時間外勤務を削減しようとしている。

保護者	<input type="radio"/>	低学年児童	<input type="radio"/>	高学年児童	<input type="radio"/>	教職員	<input checked="" type="radio"/>
-----	-----------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	-----	----------------------------------

教職員の肯定率は100%、評価点は90.8と高い数値でした。しかし実際には時間外在校時間が月45時間を超える職員は毎月数名存在しています。働き方改革に対する意識は徐々に高まってはいますが、教材作成や授業準備、行事の諸準備等の関係で、なかなか思うように進んでいないのが現状です。業務内容を見直すと共に、毎週1回のノー残業デーの確実な実施、会議時間の短縮化を図るなど、更に実効性のある取組を進めていきたいと思ひます。

1 保護者アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	96%	4%	84.7
			96%	4%	81.4
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	89%	11%	80.9
			88%	12%	78.1
	3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	98%	2%	85.3
98%			2%	84.4	
4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	88%	12%	78.2	
		87%	13%	79.7	
5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	95%	5%	85.4	
		93%	7%	82.4	
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	90%	10%	82.6
			89%	11%	80.3
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	92%	8%	83.0
			92%	8%	80.9
8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	96%	4%	85.4	
		93%	7%	81.1	
健康で明るい子ども	9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	99%	1%	91.3
			97%	3%	86.3
	10	学校は、家庭に対して児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	89.9
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	81%	19%	76.9
			77%	23%	73.6
	12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	88%	13%	81.5
83%			17%	74.5	
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	95%	5%	85.6
			94%	6%	84.0
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	99%	1%	88.4
			96%	4%	85.0
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	97%	3%	86.3
			95%	5%	85.4
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	82%	18%	79.2
			81%	19%	79.3
	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	89.5
94%			6%	83.6	
18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	91.2	
		97%	3%	88.3	
19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	92.6	
		100%	0%	91.5	
教支特 育援別	20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	89.8
			96%	4%	86.4

2 児童アンケート結果(低学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	がっこうでべんきょうするときのきまりを、まもっていますか。	98%	2%	86.5
			95%	5%	80.7
	2	しゅくだいは、わすれずにやっていますか。	98%	2%	97.9
			100%	0%	92.1
	3	かんじ やけいさんなどを、がんばっていますか。	96%	4%	92.2
			89%	11%	84.2
	4	がっこうやいえで、すすんで ^{ほん} 本をよんでいますか。	60%	40%	69.8
			56%	44%	68.9
	5	タブレットをつかったべんきょうは、たのしいですか。	94%	6%	90.1
			91%	9%	88.6
思いやりのある子ども	6	あいさつやへんじが、きちんとできていますか。	98%	2%	88.0
			95%	5%	86.8
	7	ともだちに、しんせつにしてあげたことがありますか。	98%	2%	89.6
			86%	14%	82.9
8	ともだちのよいところやじぶんのよいところを、みつけれましたか。	90%	10%	82.8	
		82%	18%	77.6	
健康で明るい子ども	9	たいいくややすみじかんなどは、すすんでからだをうごかしましたか。	100%	0%	95.8
			86%	14%	87.3
	10	うんどうや ^{そと} 外あそびは、たのしいですか。	100%	0%	99.0
			93%	7%	90.8
	11	きゅうしよくをがんばって、たべましたか。	88%	13%	85.4
			79%	21%	82.0
子ども喜んで働く	12	そうじやきゅうしよくのじゅんぴを、がんばっていますか。	96%	4%	91.1
			96%	4%	90.4
安全、生活、家庭との連携	13	がっこうにくるときやかえるときは、こうつうルールをまもっていますか。	96%	4%	93.8
			96%	4%	91.7
	14	がっこうせいかつは、たのしいですか	96%	4%	91.7
			91%	9%	86.4
	15	がっこうのきまりややくそくをまもって、せいかつしていますか。	100%	0%	90.6
			91%	9%	86.4
	16	がっこうのことを、おうちの ^{ひと} 人に、はなしていますか。	90%	10%	87.0
			81%	19%	78.5
17	がっこうでこまったことは、せんせいにはなすようにしていますか。	94%	6%	84.4	
		77%	23%	78.1	
18	れんらくちょうをきちんとかいて、 ^{いえ} ^{ひと} 家の人にみせていますか。	96%	4%	93.8	
		84%	16%	85.1	

3 児童アンケート結果(高学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	授業にとりくむ姿勢・ルールは、まもっていますか。	88%	12%	75.4
			90%	10%	75.4
	2	家ででの学習(宿題や家庭学習など)に、進んで取り組んでいますか。	88%	12%	78.5
			72%	28%	76.3
	3	漢字や計算などに、がんばって取り組んでいますか。	88%	12%	81.6
			86%	14%	82.8
	4	学校や家で、すすんで本をよんでいますか。	51%	49%	64.5
			45%	55%	61.2
	5	タブレットをつかった勉強は、楽しいですか。	91%	9%	87.7
			83%	17%	79.7
思いやりのある子ども	6	あいさつや返事が、きちんとできていますか。	96%	4%	88.6
			93%	7%	81.9
	7	友だちに、親切にしてあげたことがありますか。	93%	7%	89.7
			93%	7%	87.1
	8	友だちのよいところや自分のよいところを、みつけられましたか。	88%	12%	84.2
			88%	12%	84.5
健康で明るい子ども	9	体育や休み時間などは、すすんで体を動かしましたか。	77%	23%	80.3
			78%	22%	77.2
	10	運動や外あそびは、楽しいと思いますか。	82%	18%	84.2
			86%	14%	86.2
11	給食をがんばって、たべましたか。	82%	18%	86.0	
		88%	12%	86.6	
喜んで働く子ども	12	そうじや給食のじゅんびを、がんばっていますか。	98%	2%	88.6
			98%	2%	88.8
	13	係や委員会活動に、すすんで活動していますか。	96%	4%	88.2
95%			5%	87.9	
合認の違いを	14	自分とちがう考えや行動をする友だちのことを、大切にしていますか。	93%	7%	89.5
			95%	5%	85.3
安全、生活、家庭との連携	15	交通ルールを守って、登下校していますか。	98%	2%	93.9
			98%	2%	93.1
	16	学校生活は、楽しいですか。	86%	14%	83.8
			93%	7%	84.9
	17	学校のきまりややくそくを守って、生活していますか。	98%	2%	89.0
			97%	3%	86.6
	18	学校のことをお家の人に、はなしていますか。	81%	19%	80.3
			76%	24%	77.6
	19	学校でこまったことは、先生に話すようにしていますか。	75%	25%	75.9
			76%	24%	74.6
20	連絡帳をきちんと書いて、家の人に見せていますか。	81%	19%	80.7	
		76%	24%	79.3	

4 教職員アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

☆上段:今年度 下段:昨年度

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は、授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	100%	0%	89.7
			100%	0%	84.6
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	100%	0%	89.3
			100%	0%	89.6
	3	学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	100%	0%	88.3
			100%	0%	90.4
	4	児童が進んで読書するように指導・配慮している。	93%	7%	85.0
			100%	0%	85.4
	5	授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	94%	6%	87.5
			100%	0%	83.3
思いやりのある子ども	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	100%	0%	88.2
			80%	20%	75.0
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	100%	0%	92.1
			93%	7%	78.6
8	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	100%	0%	94.7	
		100%	0%	98.3	
健康で明るい子ども	9	児童は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	100%	0%	93.4
			100%	0%	95.0
10	学校は、家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	94.7	
		100%	0%	96.7	
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが育成されている。	94%	6%	83.3
			92%	8%	78.8
	12	児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	100%	0%	83.8
			92%	8%	78.8
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	100%	0%	93.4
			100%	0%	94.6
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	100%	0%	96.1
			100%	0%	94.6
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	100%	0%	90.3
			100%	0%	88.3
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	100%	0%	82.8
			86%	14%	76.8
17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	90.8	
		100%	0%	93.3	
18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	90.8	
		100%	0%	98.3	
19	「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	98.7	
		100%	0%	93.3	
特別支援教育	20	特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	96.1
			100%	0%	96.7
不祥事防止	21	学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。	100%	0%	97.4
			100%	0%	100.0
働き方改革	22	意識して時間外勤務を削減しようとしている。	100%	0%	90.8
			100%	0%	86.7

令和7年度 学校関係者評価

学校名	旭市立琴田小学校
-----	----------

1 学校教育目標

豊かな心で自ら学び合う たくましい琴田っ子の育成

学校関係者評価委員
(学校運営協議会委員)

2 本年度の学校経営の重点

① 授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底する事で学習習慣を確立する。	・ 授業に取り組む姿勢(グー・ベタ・ピン・サツ)やルールを全校で統一し、教室全面に掲示して、徹底指導を行う。 ・ 授業の開始時刻、終了時刻を厳守する。 ・ 授業以外の場面でも、基本的な生活習慣(廊下・階段の歩行、返事・挨拶・お礼の習慣化等)の確立に取り組む。	地域コーディネーター 江ヶ崎区長 中琴田区長
② 家庭学習の充実を図る。家庭学習への取り組み方の指導、ICT機器の効果的活用と良モラル・マナー指導を充実させる。	・ 家庭での過ごし方について調査を行い、実態把握に努め、指導の充実につなげる。 ・ 学年、発達段階、個に応じて指導内容や方法を工夫し、支援・助言・励ましを行う。 ・ ゲーム・スマートフォン利用やTV視聴に関して、児童への指導・支援と家庭への啓蒙活動を行う。 ・ ICT機器を効果的に活用し、家庭学習の充実を図る。	江ヶ崎西区長 PTA会長 PTA副会長
③ 図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書に消極的な児童に対し、効果的な指導・支援を実施する。	・ ボランティアによる読み聞かせ」を充実させる。 ・ 図書館司書と協力し、本の紹介や読書イベントの充実、読書への啓蒙活動を実施する。 ・ 読書量の顕著な児童の表彰をわかりやすく、積極的に行う。	
④ 豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・親切運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	・ 体験活動(学習)やボランティア活動、勤労体験を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。 ・ 児童会活動を推進し、あいさつ運動や親切運動等を実施する。 ・ 道徳の授業と評価の工夫改善を積極的に行い、道徳教育を推進する。 ・ 全校児童が活躍できるような、行事・学習活動を積極的に実施する。	
⑤ 進んで運動に取り組む、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	・ 教科体育、体育的行事、部活動(陸上部)の活動を工夫し、充実させる。 ・ 体育科の授業において、準備運動の流れを統一し、スムーズな授業実践と運動量の確保に努める。 ・ 休み時間を15分間確保し、体を動かすことのできる時間を保障する。 ・ 施設や用具を整備、充実させることで、運動に取り組むしやすい環境を整える。	上記の方々のうち6名から、ご回答をいただきました。
⑥ 学校・家庭・地域と連携し、「開かれた学校」を推進し、児童一人一人の状況について、家庭との連携を密にする。	・ 家庭との連絡・連携を積極的に行う。(欠席時、ケガや体調不良時、生徒指導関係等) ・ 学校だより、学級だより、保健だよりの発行やホームページの更新など、積極的に情報を発信する。 ・ 各種行事を保護者や地域に積極的に公開する。 ・ 授業や諸活動に対して、地域人材の活用を推進する。	
⑦ 公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、「不祥事ゼロ」を実現する。	・ モラルアップ委員会や研究室を中心に校内研修会を実施し、教職員の意識改革やボトムアップ型の提言を推進する。 ・ 職員間でコミュニケーションを積極的に図り、互いに何でも伝え合える風通しの良い職員室・職場を醸成する。 ・ モラルアップ委員長を中心に、不祥事根絶に向けた啓蒙活動や防止・根絶研修を計画的・効果的に実施する。 ・ 教職員としての資質能力の向上を図り、人材育成を推進する。	

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

学校による自己評価の評価基準 : A(満足できる)、B(ほぼ満足できる)、C(やや努力が必要である)、D(努力が必要である)

学校関係者評価の評価基準 : A(適切な評価である)、B(ほぼ適切な評価である)、C(やや不適切な評価である)、D(不適切な評価である)

分野・領域	評価項目	評価の指標	自己評価	考察と改善に向けた取組	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学校運営教育課程	保: お子さんは、学校に行き事を楽しんでいる。 児: 学校生活は、楽しい。	保護者の97%、児童の91% (低: 96%、高: 86%)から肯定的評価を得た。	A	キャリア教育に関しては、昨年度はB評価だったが、今年度は肯定率も向上し、評価点も81.5と目標値を上回る事ができた。今後も校内の取組がしっかりと保護者に伝わり、指導の成果について理解を得られるように継続していく。 「学校に行く事が楽しい」の項目の肯定的評価が100%により近づき、今後も努力していく。特に高学年児童の肯定率が低学年児童と比較すると低いので、「わかる授業の実施」と「安全・安心で楽しい学校生活」を目指して取り組む。	A評価: 6名	A評価: 6名
	保: 学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	保護者の88%から肯定的評価を得た。	A			
	保: 学校は特別な支援が必要な児童に対し、個別の職: 支援・指導に努めている。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
学習指導	保: 学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字など職: が身に付くように指導している。	保護者の98%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A	読書に関する項目については、昨年度よりわずかに数値は向上したが、児童の肯定率並びに評価点の数値が低いためC評価とした。学校では、昨年度から読書賞受賞者の顔写真掲示による賞状や読書ボランティアによる読み聞かせ活動を毎週全クラス同時に実施すること、図書館司書による図書室の管理・充実と本の紹介等を行っている。しかし、意欲的に取り組む児童は一部に留まっており、学校全体としての意識はまだ十分ではない。学力向上の第一歩として「読解力の向上」を目指すためにも、文字・文章に触れる機会と意欲が高まるよう、更なる工夫が必須であると感じている。 その他の項目は、肯定率・評価点共に昨年度の数値を上回ったためA評価とした。特に基礎・基本的な知識の習得や家庭学習の充実を目指した小テストの実施は効果的であったので、今後も継続して実施していく。	A評価5名 B評価1名	A評価6名
	保: お子さんは、宿題や家庭学習の習慣が身に付いている。 児: 家で学習(宿題や家庭学習)に進んで取り組んで保: 学校は、お子さんが進んで読書するように指導・配慮している。	保護者の89%、児童の93% (低: 98%、高: 88%)から肯定的評価を得た。	A			
	保: 学校は、お子さんが進んで読書するように指導・配慮している。 児: 学校や家で、進んで本を読んでいる。	保護者の88%、児童の55.5% (低: 60%、高: 51%)から肯定的評価を得た。	C			
	保: 学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。 児: タブレットを使った勉強は、楽しい。	保護者の95%、児童の92.5%から肯定的評価を得た。	A			
	職: 授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	職員の94%が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
学校関係者による意見等	○学校全体で計画的に学習指導を行っており、成果が出ていることがわかる。課題の読書については、様々な工夫が見られ、今後の改善に繋がると思う。学校全体で目標をもち、引き続き取り組んでほしい。					
生徒指導	保: お子さんは、授業に取り組む姿勢・ルールが身に付いている。 児: 授業に取り組む姿勢・ルールは守っている。	保護者の96%、児童の93% (低: 98%、高: 88%)から肯定的評価を得た。	A	この3年間で授業規律の徹底や規範意識の向上と共に特別支援教育の視点もった指導を意識して取り組んできた。その結果、生徒指導上の大きな問題もなく、落ち着いた学習に取り組める環境が整ってきたと推察する。今後も教職員で共通理解を図り、生徒指導の機能を生かして指導にあたる。 いじめに関しては、「どのような友人関係のトラブルであっても積極的にいじめとして認知して指導にあたる。」ことを実践した。今後も日々の観察、家庭との情報交換、毎月実施の生活アンケート等を行い、未然防止と早期発見・対応に努める。	A評価: 6名	A評価6名
	保: お子さんは、基本的な生活習慣が身に付いている。 児: 学校のきまりや約束を守って生活している。	保護者の82%、児童の99%から肯定的評価を得た。	A			
	保: 学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。 職: いる。	保護者の96%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
	保: お子さんは、「道徳」やその他の活動を通して思いやりや心が育っている。 児: 友達に親切にあげたことがある。 児: 友達の良いところや自分の良いところを見つける事ができた。	保護者の92%、児童の95.5% (低: 98%、高: 93%)から肯定的評価を得た。 児童の89%から肯定的評価を得た。	A			
学校関係者による意見等	○職員が共通理解を図り、自信をもって取り組んでいることがわかる。児童の規範意識や自己肯定感を高める指導をお願いしたい。					
道徳人権教育	保: お子さんは、挨拶や返事がきちんとできている。 職: 児童は、挨拶や返事がきちんとできている。	保護者の90%、児童の97%、から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A	どの項目においても肯定的評価の数値は、比較的高い値となっている。しかし、児童の日常生活においては、更なる成長が期待できる様子である。挨拶・返事の励行や道徳的実践力を更に高めたいため道徳の授業や日常生活における指導、児童会を中心とするあいさつ運動など、様々な機会を通して児童の心の成長を目指して取り組む。 本校の利点である少人数指導や温かい人間関係の雰囲気指導を生かしていく。	A評価: 6名	A評価6名
	保: お子さんは、「道徳」やその他の活動を通して思いやりや心が育っている。 児: 友達に親切にあげたことがある。 児: 友達の良いところや自分の良いところを見つける事ができた。	保護者の92%、児童の95.5% (低: 98%、高: 93%)から肯定的評価を得た。	A			
	保: お子さんは、「道徳」やその他の活動を通して思いやりや心が育っている。 児: 友達に親切にあげたことがある。 児: 友達の良いところや自分の良いところを見つける事ができた。	児童の89%から肯定的評価を得た。	A			
	保: お子さんは、「道徳」やその他の活動を通して思いやりや心が育っている。 児: 友達に親切にあげたことがある。 児: 友達の良いところや自分の良いところを見つける事ができた。	児童の89%から肯定的評価を得た。	A			
学校関係者による意見等	○学校の利点を生かして、児童に対してきめ細やかに職員が接していることがわかる。これからも児童の心の成長を図り、社会性を身につける取組をお願いしたい。 ○校外での挨拶も期待します。					
保健・体育安全管理	保: 学校は、体育の授業や体育的行事、休み時間の遊びを通して運動に親しみ、体力向上を推進している。 児: 体育や休み時間などは、進んで体を動かした。	保護者の99%、児童の88.5% (低: 100%、高: 77%)から肯定的評価を得た。	A	今年度から、休み時間・屋休みの全てを15分間確保して運動に親むための環境作りを行った。また、教員の体育指導力のレベルアップについて校長を中心に取り組み、安全な指導法と体力・技能の向上を目指した授業改善に取り組んだ。今後も児童の体力向上と体育活動の充実、積極的に運動に取り組める環境整備に努める。 交通安全等については、PTA役員、地域ボランティアの方々の協力のもと、引き続き、保護者や地域と共に子ども達の安全確保に取り組んでいく。 安全で安心な学校運営に向けて、教職員の意識を高々維持し、毎月の安全点検を確実に実施することを今後も継続していく。	A評価: 6名	A評価6名
	保: 学校は、家庭に対してお子さんの保健衛生に関する情報提供に努め、協力して子どもの健康増進に取り組んでいる。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
	保: 学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。 職: いる。	保護者の95%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
	保: 学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全職: 対策に努めている。	保護者の99%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
	保: 学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全職: 対策に努めている。	保護者の99%から肯定的評価を得た。また、職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A			
学校関係者による意見等	○学校にとって安全・安心な環境を作ることは一番重要である。また、児童の体力向上に向けて職員が力を合わせて取り組んでいることは素晴らしい。児童一人一人が元気に安心して学校生活を送れるように教育活動に取り組んでほしい。					
保護者・地域との関わり	保: 学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。 職: 児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。 職員は全員(100%)が「十分」「概ね十分」と考えている。	A	どの項目も大変高い肯定的評価をいただいている。今後も以下の点を継続していく。 ○子ども達や保護者の声に耳を傾け、相談には誠意をもって丁寧に対応する。 ○学校で発生した内容については、事の大小に関わらず、学級担任から保護者に積極的に連絡・報告をこまめに行う。 ○学校配用メールを積極的に活用して、情報発信・連携を行う。 ○学校だよりは、写真の活用、記事の精査を行うことで保護者にわかりやすい内容にする。また、ホームページ併用して今後も引き続き、積極的な情報発信に努める。	A評価: 6名	A評価6名
	保: 学校は、連絡帳・電話・学校配用メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。	A			
	保: 学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。	A			
	保: 学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	保護者の全員(100%)から肯定的評価を得た。	A			
学校関係者による意見等	○学校からの情報発信が充実していて、保護者・地域からの信頼が厚いことがよくわかる。これからも地域・保護者との連携を強める取組を続けていって欲しい。					